



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社
コード番号 6306 URL <http://www.nikko-net.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 辻 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 藤井 博 TEL 078-947-3141
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト・新聞記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,982	△9.5	269	△32.5	455	△16.9	348	33.9
2023年3月期第2四半期	18,760	△1.3	399	△58.8	548	△50.4	259	△70.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 1,307百万円（263.8%） 2023年3月期第2四半期 359百万円（△56.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	9.09	—
2023年3月期第2四半期	6.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	57,127	32,372	56.8	846.50
2023年3月期	52,127	31,604	60.7	826.73

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 32,445百万円 2023年3月期 31,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	10.9	1,900	84.8	1,900	51.3	1,200	17.6	31.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	40,000,000株	2023年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,671,425株	2023年3月期	1,723,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	38,296,475株	2023年3月期2Q	38,245,157株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は2023年11月13日（月）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2023年12月12日（火）にアナリスト向け説明会（ライブ配信）を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済環境は、依然として米国では物価高が進み、インフレ対策としての金利引上げが継続されているものの、一方では金利引上げの終わりが意識され経済の過熱の抑制と景気後退回避の綱引きが続いています。日本においては、日本銀行による金利政策の見直しがあったものの、引続き欧米との金利政策の違いによる円安が物価高に拍車をかけ、市民生活への影響が大きくなっています。また、中国では不動産大手の債務不履行懸念をはじめ景気減速、成長の鈍化が顕在化してきています。

そのような状況下、日本国内においてはアスファルトプラントのCO₂排出量を抑制するフォームド装置の拡販やコンクリートプラントのメンテナンス事業が堅調に推移、アスファルトプラントの主要ユーザーである道路会社の設備更新投資にも回復の兆しが見られるようになったものの、中国において景気減速、成長の鈍化の影響を受けており、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は169億82百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。損益面では、脱炭素化に向けた研究開発、グローバル製品等の開発及び人的資本投資等の増加により、連結営業利益は2億69百万円（前年同四半期比32.5%減）となりました。連結経常利益は4億55百万円（前年同四半期比16.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億48百万円（前年同四半期比33.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<アスファルトプラント関連事業>

国内の製品の売上高は前年同四半期比増加しました。国内のメンテナンス事業及び海外の売上高は、前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比17.7%減の71億14百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

<コンクリートプラント関連事業>

国内のメンテナンス事業の売上高は前年同四半期比増加しました。国内の製品及び海外の売上高ともに前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比4.9%減の50億49百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

<環境及び搬送関連事業>

環境製品、搬送製品ともに売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比18.6%増の14億50百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同期比増加、受注残高は前年同四半期比減少しました。

<その他>

土農工具の売上高は前年同四半期比増加しました。破碎機、仮設機材の売上高は前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比5.7%減の33億67百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は571億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して49億99百万円の増加となりました。

流動資産は、367億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億39百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の29億95百万円、仕掛品の24億54百万円、商品及び製品の1億53百万円それぞれ増加、売掛金の10億2百万円、受取手形の9億89百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、203億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億59百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の11億96百万円、有形固定資産の8億94百万円それぞれ増加したこと、繰延税金資産の3億93百万円減少したこと等によるものです。

負債は、247億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億31百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の25億3百万円、契約負債の16億91百万円、電子記録債務の2億68百万円それぞれ増加、支払手形及び買掛金の2億3百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、323億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億68百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が8億52百万円増加、利益剰余金が2億25百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.7%から56.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,317	13,313
受取手形	2,357	1,367
売掛金	6,645	5,642
電子記録債権	2,233	2,020
商品及び製品	1,794	1,948
仕掛品	7,423	9,878
原材料及び貯蔵品	1,657	1,643
その他	1,294	949
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	33,723	36,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,945	6,145
土地	3,878	4,208
建設仮勘定	236	626
その他(純額)	1,779	1,752
有形固定資産合計	11,839	12,733
無形固定資産		
のれん	130	212
その他	889	969
無形固定資産合計	1,020	1,182
投資その他の資産		
投資有価証券	3,488	4,684
出資金	7	107
長期貸付金	14	13
繰延税金資産	981	588
その他	1,183	1,185
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	5,544	6,447
固定資産合計	18,404	20,364
資産合計	52,127	57,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	2,809
電子記録債務	858	1,127
ファクタリング未払金	2,355	2,248
短期借入金	3,312	3,596
未払法人税等	265	249
未払金	644	502
前受金	17	17
契約負債	3,713	5,405
賞与引当金	417	465
役員賞与引当金	76	40
受注損失引当金	172	74
その他	492	525
流動負債合計	15,338	17,061
固定負債		
長期借入金	2,449	4,953
繰延税金負債	0	49
役員退職慰労引当金	235	183
退職給付に係る負債	2,166	2,166
その他	333	340
固定負債合計	5,184	7,693
負債合計	20,523	24,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,934	7,946
利益剰余金	13,628	13,402
自己株式	△760	△738
株主資本合計	29,999	29,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,177	2,030
為替換算調整勘定	582	684
繰延ヘッジ損益	-	30
退職給付に係る調整累計額	△115	△108
その他の包括利益累計額合計	1,644	2,637
非支配株主持分	△40	△72
純資産合計	31,604	32,372
負債純資産合計	52,127	57,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,760	16,982
売上原価	13,839	11,923
売上総利益	4,921	5,058
販売費及び一般管理費	4,521	4,788
営業利益	399	269
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	73	99
為替差益	83	97
その他	36	55
営業外収益合計	195	261
営業外費用		
支払利息	35	59
損害賠償金	4	12
その他	5	3
営業外費用合計	46	75
経常利益	548	455
特別利益		
投資有価証券売却益	0	67
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	0	70
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	23	-
その他	-	0
特別損失合計	23	0
税金等調整前四半期純利益	524	526
法人税、住民税及び事業税	220	146
法人税等調整額	75	52
法人税等合計	295	199
四半期純利益	229	327
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	259	348

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	229	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	852
繰延ヘッジ損益	-	30
為替換算調整勘定	179	90
退職給付に係る調整額	6	7
その他の包括利益合計	130	980
四半期包括利益	359	1,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	1,340
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	△32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。